

麦



埼玉親の会「麦」発行
2022年10月24日 155号
E-mail: mugi.saitama89@gmail.com
ホームページ: <http://lmugi.sakura.ne.jp/>

全体交流おしゃべり会



6/27 (月) 10:30~12:00 浦和コミュニティセンター第13集会室

参加者 22名 (教育G5名、就労G8名、法人1名、見学8名)

私は麦の要望活動に活かしたいと思い、我が子と年齢層が異なる小学生グループに参加しました。

我が家の息子が小学生の時と比べると、発達障害の理解も進んでいるし、何より放課後等デイサービスというのがあるのをうらやましく思っていました。でもまわりの子どもたちとのかかわりや学習面の遅れなど、困りごとは同じです。もっときめ細やかな支援をしていただければ、行政へ要望を伝えることは大事だなとあらためて思いました。見学者のうち1名の方がその後入会してくださり、私たちの話が少しでも役に立ったのかなとうれしく思いました。

就労グループは法人会員の就労支援施設の方も参加してくださり、就労のことで話がもりあがっていたようです。就労支援施設の方は家族の悩みや希望など、意見を伺えたら、もっと家族の意向を理解できるのではないかと参加してくださったそうです。

おしゃべり会は悩みや困りごとを共有するだけでなく、話してみることで自分なりに解決できる場でもあると思います。また支援をひろげていける場でもあると思います。

最近はコロナの蔓延もあるからでしょうか、会員より見学者の方が多いい傾向があります。もっとたくさんの方の会員の参加があればいいなと思います。 (C・N)

7/25 (月) 10:30~12:00

浦和コミュニティセンター第14集会室

参加者 9名 (就労G5名、法人1名、見学3名)

感染対策に注意しながら、会場でのおしゃべり会が開催されました。私のグループでは、進路の話題や不登校の悩みなど話した後、本人への告知に関しての話題が出ました。十分に準備をされて告知に挑んだ方のお話を聞き、我が家はうっかりなんとなく伝わってしまったので、もう少し気づきが必要だったと思いました。あっという間に終了の時間になりましたが、充実した時間を過ごせました。皆さんお疲れさまでした。ありがとうございました。 (Y・S)

9/29 (木) 10:30~12:00

浦和コミュニティセンター第10+第11集会室

参加者 16名 (教育G2名、就労G6名、見学8名)

3グループに分かれて、和やかな雰囲気で行なわれました。私は小学生のグループに入りました。年齢に関係なく、一番の悩みはこれからの進路先が多くどんな進路先があるのか情報交換したり、小学校の高学年になると学習の遅れが心配になってきたり、不登校になったり、学校や職場でのコミュニケーションの悩みがあるなどの話題が出ました。とても有意義なひとときを過ごすことができました。ありがとうございました。 (A・Y)

発送活動

6月発送 6/27 (月) 浦和コミュニティセンター第13集会室 13:00~印刷製本封入

午前の全体おしゃべり会の後、役員5名で機関紙6月号の発送作業を行いました。午前参加の会員から、お手伝いのお申し出があり、大変嬉しかったのですが、今回は印刷郵送が少なかった為、役員のみで作業しました。会員皆様には、作業の多い時(特に2月と4月)にお手伝いをお願いすることがあると思います。その際は、ご都合のつく会員はご協力をお願いいたします。(H・Y)

公開フォーラム&10月例会案内の発送 9/29 (木)

浦和コミュニティセンター 第10+第11集会室 13:00~印刷製本封入

全国LD親の会主催「第21回公開フォーラム」開催にあたり、共催である「麦」は広報協力の為に、役員会で会員等にフォーラムのチラシを郵送することを決定いたしました。そこで、午前の全体おしゃべり会の後に役員4名で公開フォーラムのチラシと「麦」10月例会チラシの発送作業を行いました。いつもの発送と異なりますが、必要な情報を確実に皆様に届けられるように、役員一同心掛けていきます。(H・Y)



NPO法人全国LD親の会

全国LD親の会 関東・東北ブロック会議

7/18 (月・祝) 13:00~16:00 Zoom 利用

理事長、副理事長も参加いただき24名が出席して行われました。

内容は、評議員会の報告として、①第15回総会(6/12機関紙前号で報告)の報告。来年6/17に第16回総会、6/18に公開フォーラムを富山県で開催予定 ②特別支援教育支援員養成ビデオ講座の報告 ③全国会員テーマ別学習会の予定(麦会員には実施の都度お知らせ)などのお話がありました。

他に、全国LD親の会会員の制度について、青年交流会の在り方についてなどは各会に持ち帰って次回(来年2月)までの課題になりました。その後、各会の活動報告がありました。リモートでの活動を生かしながら、会員が集まって行う活動や子ども(当事者)の活動をコロナ禍以前のように行っている報告もありました。

(M・K)

全国LD親の会 第1回各会役員交流会



8/27(土)全国LD親の会に所属する各地親の会役員達のZoom交流会が、午後と夜間に開催されました。午後の部は13:00~15:00で21名、夜間は19:00~21:00で23名の参加がございました。「麦」からは、午後の部に2名の役員が参加いたしました。私が参加した午後の部では、参加者達が順番に会や地域の活動を紹介しながら、現在抱えている悩みなどを話していきました。「麦」としては、会員の減少や役員不足について、各会でどのように対応しているか関心がございましたが、時間も限られているため、各会の対策を十分に伺うことはできませんでした。全国LD親の会では、今後も隔月に役員交流会を開催していくそうです。他会の活動を参考にしながら、麦会員達が主体的に活動できるような方法を考えていきたいと思っております。(H・Y)



第 1 回行政勉強会 「障害者年金・障害者手帳について」

7/10 (日) Zoom 利用 講師：日詰正文氏 (元厚生労働省、JDDnet 事務局長、言語聴覚士)

障害者年金の受給に関心があり、勉強会に参加させていただきました。障害者年金を受給するために必要な「国民年金や厚生年金」への加入やそれが不要な場合の説明、支給額について、申請と審査について (特に精神障害者の場合) などをお話いただきました。要件が様々あり、医師の診断書の重要性や申請が困難な場合は社会保険労務士に相談するとよいそうです。また、障害者手帳の取得と使い道についても説明いただきました。最後に今後の課題として「支援を求めることに本人が慣れておくことも大切」「公助だけでは持続困難と思われる。共助の仕組みづくりを。」とのお話が印象に残りました。共助の一つとして親の会の存在も大切、とおっしゃっていました。チャット機能を利用して次々に質問が出され、とても有意義な時間でした。

企画してくださった全国 LD 親の会の役員の皆様、ありがとうございました。今後の勉強会も楽しみです。

(M・K)



第 2 回行政勉強会 「合理的配慮と授業のユニバーサルデザイン」

9/11 (日) Zoom 利用

講師：笹森 洋樹氏 (独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター センター長)

入試などで合理的配慮があるなど、近年合理的配慮は進んだように感じる一方で、身近な学校での様子を、私自身はあまり知らずにいたことから、興味深く参加させていただきました。今回の勉強会で、合理的配慮は本人のニーズや希望が大切で、本人不在にならないように気を付けることや、環境整備したうえで行われるもので、決して対象者だけを特別扱いするものではないなど、基本的な部分を知ることができました。Zoom 開催ということで、家から参加できる気軽さはあるものの、会場開催のように直接質問できないもどかしさがあるのではないかと考えていましたが、参加された方々はチャットをうまく利用されて、質問など盛んにされており、活気のある勉強会でした。リモートでありながら、身近に感じました。全国 LD 親の会では、今後も勉強会の企画があるとのこと。楽しみにしております。開催いただきありがとうございました。(Y・S)

＜ 全国 LD 親の会主催 勉強会の今後の予定 ＞

第 3 回 11 月 27 日 (日) 10:00~12:00 講師:日詰 正文氏

テーマ「放課後等デイサービスの質的向上や不登校について」

第 4 回 1 月 22 日 (日) 時間未定 講師:笹森 洋樹氏

テーマ「自閉症・情緒障害特別支援学級と通級による指導」

発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック
社会の中で生きるちから編 12 月発行予定

親の会 30 年の経験から

<http://www.kamogawa.co.jp/kensaku/syoseki/ha/1248.html>

発売予定や既刊書籍のご購入は、
かもがわ出版の HP をご覧ください。

<http://www.kamogawa.co.jp/index.html>





令和 5 年度発達障害関係予算要望事項の作成

今年度も、埼玉県とさいたま市宛てに、令和 5 年度発達障害関係予算要望事項を作成しました。できるだけ会員の意見を伺いたいと思い、おしゃべり会も2回開くことができました。連絡網でも、意見募集をしました。ご意見をお寄せくださった皆様ありがとうございました。担当役員はおしゃべり会や連絡網で頂いたご意見を参考にして、おしゃべり会終了後の検討会や Zoom での検討会を行い、メールの交換で要望書をまとめました。予算要望事項の作成は、発達障害のある方や家族がよりよく生きていくための声を行政に伝える「麦」の大切な活動の一つです。今後も皆様のご協力をぜひお願いいたします。(C・N)

埼玉県令和 5 年度発達障害関係予算要望事項提出及び回答

今年度の初めに埼玉県福祉部障害者福祉推進課長から9/6(火)に「県との話し合い」の通知をいただきました。話し合いに出席するにあたって令和 5 年度予算要望事項を 7/25(月)に埼玉県知事宛に提出しました。おしゃべり会や連絡網でいただいた意見をふまえて、文部科学省の「令和 4 年度特別教育支援政策について」や厚生労働省の「令和 4 年度発達障害者支援施策」、国立障害者リハビリテーションセンターの実践報告集などを参考にして予算要望事項を作成しました。

昨年はコロナ蔓延のために、話し合いが中止になって、意図した要望を文章だけで伝えることの難しさを感じましたが、今年は話し合いの場がもてとてもよかったです。当日は役員3名が出席しました。「口頭回答希望」とした項目について、担当部署の方が口頭で回答してくださるので、回答に疑問に思ったことやもっと詳しく聞きたいことなどをその場で聞くことができました。職場開拓にあたっての現場の苦労も知ることができました。

口頭回答のために、時間を割いて出席していただいた担当課の皆様ありがとうございました。文書回答をいただいた担当課の皆様もありがとうございました。私たちの要望が今後活かされることを願います。各課に回答を依頼していただいた障害者福祉推進課総務・企画・団体担当の皆様にご感謝申し上げます。要望事項と回答は「麦」ホームページに掲載される予定です。その折にはぜひご覧ください。(C・N)



さいたま市令和 5 年度発達障害関係予算要望事項提出及び回答

7/14(木)、さいたま市令和 5 年度発達障害関係予算要望事項をさいたま市長あてに提出いたしました。その際、補足説明のため、障害政策課ノーマライゼーション推進係と教育委員会特別支援教育室に、私を含め役員3名で訪問いたしました。関係部局の皆様におかれましてはお忙しいところお時間を作ってくださりありがとうございました。それぞれで、共通項目として、家庭・福祉・教育・就労の連携についての要望をお話しました。障害政策課ノーマライゼーション推進係では、発達障害に関する理解の促進や、発達障害のある本人への支援についてお願いをさせていただきました。また、就労に関して、発達障害専門の就労支援担当者の配置や発達障害総合支援センターにおけるジョブコーチの増員と職場定着支援の強化についてなどをお話いたしました。教育委員会特別支援教育室では、合理的配慮とインクルーシブ教育システムの充実のために ICT の活用をお願いしました。皆様、各項目についてじっくり聴いていただき本当にありがとうございました。なお、9/30(金)に本要望事項の回答書をさいたま市から頂きました。さいたま市関係部局の皆様にご改めて御礼申し上げます。

さいたま市令和 5 年度発達障害関係予算要望事項に関する回答

<http://ld-mugi.sakura.ne.jp/youbousyo.kaitou2022city.saitama.pdf>

ご不明な点やその他お問合せは、役員までご連絡ください。

(Y・S)

埼玉県議会公明党議員団との意見交換会

9月14日(水)県議会議事堂5階の会議室で埼玉県議会公明党議員団主催の意見交換会が行なわれました。この意見交換会は麦の意見を県政にいかしていただけるよい機会ですので、昨年度はコロナ禍で中止になりましたが、毎年参加しています。私を含め3名が出席いたしました。

公明党議員団からは団長の西山氏をはじめ、3名の県議会議員、参議院議員政策秘書担当1名、衆議院議員政策秘書担当1名の合計5名の参加でした。時間が20分と短いため、麦から埼玉県予算要望書、麦主催講演会のお知らせ、全国LD親の会公開フォーラムチラシなどをお渡しして、その中から福祉、教育、就労分野からそれぞれ絞って説明いたしました。熱心に聴いていただき、いくつかの質問もいただきました。私たちの要望が少しでも県政にいかしていただけるように願います。埼玉県議会公明党議員団の皆様、このような機会を設けていただきありがとうございました。(A・Y)



役員活動報告(さいたま市)



令和4年度第1回さいたま市障害者政策委員会

7/13(水)、掲題会議がZoomによるオンラインで開催されました。まず、障害者総合支援計画(2021~2023)の令和3年度の実施状況が報告されました。評価方法について質問や意見がだされました。次期障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査については、障害ごとに分かれていたアンケートの設問用紙を一本化するにあたって、説明や質疑が行われました。

次期障害者総合支援計画策定のためのアンケートは10月より開始されております。発達障害者には、さいたま市から委託された当事者団体(麦など)による会員への配布および療育センター利用者などへの配布が行われており、さいたま市在住の「麦」の会員の皆様には私から郵送させていただきました。ご協力をお願い申し上げます。(Y・S)

令和4年度第1回さいたま市発達障害者支援連絡協議会

7/14(木) 標題会議がZoomを利用して開催されました。議題は、今年度完成をめざして検討中の、支援者育成のための支援ツール「(仮)模擬事例集&資源マップ」の原稿として委員が作成する模擬事例の書き方について。また、委員が所属する機関が公表している社会資源情報資料の説明などでした。当会が作成し公開している資料は特にありませんが、ホームページに様々な情報があることを説明しました。(M・K)



令和4年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会

ワーキンググループ 児童・思春期支援部会

7/21(木) 午前、さいたま市子ども家庭総合センター会議室において標記の部会が開催され、「麦」事務局のYが委員として出席いたしました。当日は、「各委員の事業報告」「令和3年度ひきこもり相談センター事業報告」「普及啓発事業等」について、話し合いました。発達障害を背景とするひきこもりのケースは多く、発達障害者本人やその家族が利用しやすい特別な支援体制が必要です。また、児童・思春期においては、不登校からひきこもりに発展しないように、学校との連携が求められます。ひきこもり対策連絡協議会には、民間のひきこもり支援機関、医療機関、自立支援機関、就労支援機関など、様々な方が参画していますが、発達障害者支援センターや教育機関からも専門的な意見を伺い、連携していきたいと感じました。(H・Y)



令和 4 年度第 1 回さいたま市発達障害者支援地域協議会

8/25（木）標題会議が Zoom を利用して開催されました。現在さいたま市で利用されている「潤いファイル」の改定を進めており、来年度からの使用を目指しています。現在分かれている成人期用を合わせて、ライフステージを通して利用できるものになります。また、併せて「使い方ガイドブック」も作成しており、より利用しやすいものになると思います。

他に、昨年度行われた「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」と、発達障害に関する講演会（機関紙 6 月 154 号で報告）の報告があり、どちらもオンデマンド配信で実施されたので、会場で開催されたところよりかなり多くの参加者があり好評であったということです。（M・K）

役員活動報告

令和 4 年度 第 1 回若者支援のためのネットワークづくり研修会



「発達障害の若者の支援～みつけばハウスの実践から～」

7/21（木）13:30～17:00 浦和コミュニティセンター第 15 集会室

講師 NPO 法人東京都自閉症協会副理事長 尾崎ミオ氏

埼玉県では、若者支援に携わる機関や団体の方などを対象に、研修会を開催しています。「麦」でも、参加者からご紹介いただき、今年 2 月より参加することになりました。今回は発達障害の若者支援がテーマで、講演と事例検討会、交流会が行われました。講師の尾崎氏は、東京都世田谷区から委託を受けて発達障害の若者のための居場所「みつけばハウス」を運営しています。講演では、「みつけばハウス」の実践から、若者が自立するためのヒントをたくさん頂きました。その後、埼玉県発達障害総合支援センターによる事例検討が 2 件あり、小グループで討議いたしました。どちらの事例も、尾崎氏が解決のヒントをコメントしてくださいました。最後に、参加者と情報交換できる場が設けられました。

私は、講師の尾崎氏と十数年前に全国 LD 親の会の活動を通じて会う機会がございました。そこで休憩時間に尾崎氏に話しかけたところ、当時のことを覚えていてくださり、嬉しかったです。昔に比べ、発達障害の支援は進みましたが、十分とは言えません。躓いて孤立する若者も少なくありません。「みつけばハウス」のような居場所が各地に設立され、発達障害の若者が孤立せずに生活できる社会を目指して活動していきたいです。研修会を企画してくださった埼玉県青少年課の皆様、講師や関係者の皆様、当日はありがとうございました。

（H・Y）

埼玉県立総合教育センター主催 令和 4 年度 特別支援学校 5 年経験者研修

「保護者の心情に配慮した支援の在り方」

7/26（火）、埼玉県立総合教育センター主催の令和 4 年度特別支援学校 5 年経験者研修がオンラインで開催され、「麦」事務局の Y が「保護者の心情に配慮した支援の在り方」というテーマで、講演させて頂きました。対象者は、埼玉県公立特別支援学校の教職経験 5 年目の教師です。私は発達障害と限定せず、障害のある子を持つ保護者の立場で、「障害児の子育て」「保護者の心情理解」「保護者との相談ポイント」「関係者の連携」「学校側に求めたい配慮」等をご説明いたしました。家庭と学校が対立すれば、子どもへの支援や指導に差し障りが生じます。保護者と教師の間がこじれる前に、話し合いを重ねて信頼関係を築くことが大切です。センターの皆様、研修に参加された皆様、当日はお世話になりました。このような機会を頂けたことに、感謝申し上げます。参加された皆様がそれぞれの現場でご活躍されますことを、心からお祈りしております。（H・Y）



令和4年度 さいたま市第1回誰もが共に暮らすための市民会議

さいたま市では、市民の声を障害政策に届けるために市民会議を開催しており、小グループで話し合いを行っています。6/24（金）に標記会議が浦和コミュニティセンターで開催され、私は一般の立場で会場参加させていただきました。なお本会議は、新型コロナウイルス感染症予防のため、書面開催も併せて行われました。今回の議題は、令和3年度障害者総合支援計画の達成状況等についてでした。さいたま市が令和3年度に行った障害児者支援事業の実績と評価が掲載されている資料を基に、小グループに分かれて意見を出し合いました。当日の参加者の多くが、サービス提供者である行政がつけた事業評価と、利用者である障害者が感じる事業の評価に乖離があると意見していました。私は参加者の意見を伺って、サービス提供者と利用者は立ち位置が異なるのだから、互いが納得する評価基準を設ける必要があると思いました。（H・Y）



令和4年度 公開講座 「発達障害の基礎理解」

オンライン研修オンデマンド型 期間 7/6（水）～7/27（水）

埼玉県とさいたま市では、保育士や幼稚園の先生など子どもの支援者向けに、毎年発達障害について研修を行っています。そのプログラムの中から、さいたま市の障害者相談員として麦の役員2名が標題講座を視聴しました。

1 発達障害の基礎理解（医学的見地から） 2 診療・療育の現場から感じた早期発見・支援の必要性について 3 こどもと親への支援の実際 4 サポート手帳の活用について の4つの講座がありました。多様な症状を見極めて診断すること。その診断は適切な支援を早く開始するためであり、その子だけでなく親や環境改善など多岐にわたる支援が大切であることが分かりました。また具体的な症例から支援の手法についても学ぶことができました。とても有意義な機会を設けていただきありがとうございました。これからも多くの支援者の皆さんのために、このような講座を継続していただきたいと思います。（M・K）



「麦」活動報告（機関紙 2022年6月154号報告以降）

<会全体の活動> 会員参加行事

- 全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供）

6/27（月） おしゃべり会（会場開催）

7/25（月） おしゃべり会（会場開催）

9/29（木） おしゃべり会（会場開催）

- 全体活動に関する活動

9/6（火） 10月講演会「発達障害がある人の障害者手帳制度について（県政出前講座）」講師と打ち合わせ

<役員活動>

・役員会（活動の報告、計画、相談、情報交換など）	Zoom 利用（7/25 以外）
6/16（木）、7/11（月）、7/25（月）、8/10（水）、9/5（月）、	
6～9月全体例会準備、10月以降の全体例会準備と計画、11/13 全国 LD 親の会公開フォーラムの準備、	
会員連絡網のトラブルへの対応と連絡手段の検討、他	
・機関紙発行および各種発送に関する活動	
6/27（月）	機関紙 154 号発行 WEB 掲載、印刷、発送
8/27（土）	機関紙 154 号メールボックスへ発送（県要望関連）
9/26（月）	公開フォーラム広報用各種印刷
9/29（木）	公開フォーラム&10月例会案内の発送
・ホームページの更新	
6/16（木）、6/27（月）、8/8（月）、8/15（月）、9/9（金）、9/15（木）、9/17（土）、9/26（月）	
・要望書提出に関する活動	
6/22（水） Zoom、6/27（月）、6/30（木） Zoom	他メール交換
	さいたま市要望書検討会
6/27（月）、7/11（月）、7/20（水） Zoom	他メール交換
	埼玉県要望書検討会
7/14（月）	さいたま市要望書提出と関係部局訪問
7/25（月）	埼玉県要望書提出
9/6（火）	埼玉県要望書口頭回答・話し合い
9/14（水）	埼玉県議会公明党議員団 意見交換会
・行政関連の行事	
6/24（金）	令和 4 年度さいたま市第 1 回誰もが共に暮らすための市民会議
7/6(水)～27(水)	埼玉県主催 公開講座「発達障害の基礎理解」視聴（埼玉県公式動画チャンネル YouTube）
7/13（水）	令和 4 年度第 1 回さいたま市障害者政策委員会（Zoom）
7/14（木）	令和 4 年度第 1 回さいたま市発達障害者支援連絡協議会（Zoom）
7/21（木）	令和 4 年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会児童・思春期支援部会
7/21（木）	令和 4 年度第 1 回若者支援のためのネットワークづくり研修会
7/26（火）	令和 4 年度特別支援学校 5 年経験者研修へ講師派遣（Zoom）
8/25（木）	令和 4 年度第 1 回さいたま市発達障害者支援地域協議会（Zoom）
8/28（日）	埼玉県「不登校の悩み個別相談会」に「麦」リーフレット設置
8/30（火）	さいたま市発達障害者支援連絡協議会へ支援事例等提出
・その他	
6/30（木）	プラタナス学習塾から事業説明と入会相談（Zoom）

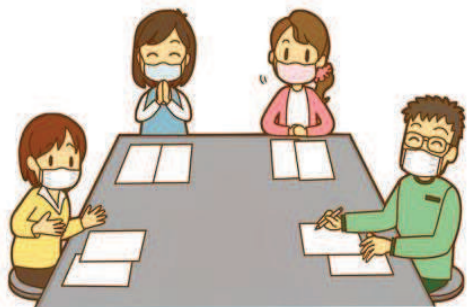
<全国 LD 親の会の行事>（すべて Zoom）

7/10（日）	第 1 回行政勉強会「障害者年金・障害者手帳について」
7/18(月・祝)	関東・東北ブロック会議
8/27（土）	役員交流会（正会員団体の各会役員対象）
9/11（日）	第 2 回行政勉強会「合理的配慮と授業のユニバーサルデザイン」



埼玉親の会「麦」主催 全体交流会 おしゃべり会 開催のお知らせ

感染対策を行った上で会場での対面おしゃべり会を開催いたします。みなさんの胸に抱えている悩みを話してみませんか？近況報告も大歓迎です。



麦会員限定（賛助・法人会員含む）の小グループによるおしゃべり会ですが、**入会検討中の会員以外の方もお試し参加として見学を受け付けています。**参加ご希望の方は 下記の申込み先にご連絡ください。皆様の参加をお待ちしております。

参加費無料 定員 30 名 先着順 定員になり次第締め切り

日時 12月14日(水) 10:30~12:00 (受付 10:15~)

会場 浦和コミュニティセンター 第13集会室

さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムナーレ 10F TEL 048-887-6565
JR 浦和駅東口徒歩 1 分 ロータリー前 有料駐車場あり

申込み&問合せ先 埼玉親の会「麦」

Mail mugisaitama89@gmail.com (申込み先) TEL 080-4125-6020 (再確認用)

12月7日(水)までに、参加者名、電話番号およびお子様の年齢を**メールでお申込みください。**

3日以内に受付完了メールを送信します。受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は、お手数ですが電話でご連絡ください。

見学参加者の個人情報は、交流会の運営と緊急連絡などの目的以外に使用せず、必要がなくなり次第速やかに処分いたします。**会員はメール連絡で申込み先を確認してください。**

新型コロナウイルス感染防止対策のお願いと諸注意

- ・お子様への感染防止の為、お子様の同伴はお控え願います。
- ・当日は検温し、マスク（要持参）を着用してください。体調不良の場合はご参加を見合わせてください。
- ・感染対策に際し、理由なくスタッフの指示にご協力いただけない場合は、お断りすることがございます。
- ・**会場開催の予定ですが、緊急事態宣言等の感染状況によりオンライン（Zoom）に変更する場合がございます。**その際はご連絡させていただきます。あらかじめご了承ください。
- ・感染対策は行いますが、万一感染者発生の場合、当会は責任を負いかねます。ご理解の程お願いいたします。

埼玉親の会「麦」は、

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD（自閉スペクトラム症）の知的に遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。（1989年発足）保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。

NPO法人全国LD親の会所属。

麦 INFORMATION 10月号

掲載希望の情報をお持ちの方は、なるべくメールで
mugi.saitama89@gmail.com または、機関紙
役員まで。

❁12月例会 おしゃべり会 麦会員限定（賛助・法人会員含む）入会希望の見学者可

日時：12/14（水）10:30～12:00（受付開始 10:15～）

場所：浦和コミュニティセンター第13集会室

※詳細はチラシ（9ページ）または麦ホームページにて確認してください。

会員の申し込み先はメール連絡でお知らせいたします。

❁1月例会 講演会 一般参加可

日時：1/31（火）10:30～12:00（受付開始 10:15～）

場所：浦和コミュニティセンター第14集会室

内容：「ひきこもり」について テーマ等決まり次第ご連絡します。

※詳細は会員連絡網または麦ホームページにてお知らせいたします。



❁麦「役員会」のお知らせ

*11月役員会 (Zoom)

日時：11/9（水）9:15～

*12月役員会 (Zoom)

日時：12/9（金）9:15～

*1月役員会 (Zoom)

日時：1/11（水）9:15～

※役員会は役員だけでなく会員なら誰でも参加できますが、コロナ禍では感染や多人数でのZoom混乱を防ぐため、役員のみで行わせて頂きます。役員会にご意見がある会員は、役員までご連絡ください。

❁ 第21回全国LD親の会公開フォーラム

「発達障害のある人の教育から就業への移行～コロナ禍における変化～」

日時：11/9（水）～11/23（祝・水）基調講演・調査報告・ミニ講演をオンデマンド配信

11/13(日)10:20～14:30「基調講演・調査報告・ミニ講演」を浦和会場から所定時間に録画再生

14:50～16:10 パネルディスカッションを浦和会場からライブ配信

開催配信方式：オンライン（Zoom ウェビナー） オンデマンド（録画）配信とライブ配信

参加費：一般 1500 円、会員 1000 円

主催：NPO 法人 全国LD親の会 共催：埼玉親の会「麦」 茨城LD等発達障害親の会 星の子

申込：麦会員は会員メールで案内したメールアドレスへ連絡（こくちーずプロで申し込むと一般価格になります）

一般の方は下記「こくちーずプロ」からお申し込みください。 申込締切 10/27（木）

<https://www.kokuchpro.com/event/jpald2022forum/>

*詳細は全国LD親の会ホームページでご確認ください。 https://www.jpald.net/pdf/forum_21.pdf

原稿お礼と編集後記

*機関紙に原稿をお寄せいただいた皆さまへ

この度は、機関紙10月号に原稿を寄せていただき、ありがとうございました。

これからも、麦の活動にご協力をお願いいたします。 <機関紙担当一同>

コロナ禍も3年ぐらい続いています。皆様もマスク生活に慣れてきたところでしょうか？外での活動ではマスクを外しても良いと推奨されてきましたが、今年の冬はインフルエンザも同時流行するともいわれています。皆様、体調には気をつけてお過ごしください。

少し早いですが、よいお年をお迎えください。

(A・Y)

